



薬剤部 ～情報～

平成30年10月



9月の採用薬品（常備薬品）

コスパノン錠40mg

エーザイ 臍胆道・尿路系鎮痙剤

【効】下記の疾患に伴う鎮痙効果

①肝胆道疾患：胆道ジスキネジー、胆石症、胆のう炎、胆管炎、胆のう剔除後遺症 ②臍疾患：臍炎 ③尿路結石

【用】通常成人は、1回1～2錠（フロプロピオンとして1回40～80mg）を1日3回毎食後経口投与する。泌尿器科においては、1回2錠を1日3回毎食後経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。

【副】悪心・嘔気、胸やけ、腹部膨満感、発疹



クラシエEK40 猪苓湯エキス細粒2g/包

クラシエ 漢方製剤

【効】尿量が減少し、尿が出にくく、排尿痛あるいは残尿感のあるもの

【用】通常、成人1日6.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【副】胃部不快感、発疹、発赤、そう痒等



9月の採用薬品（院外専用薬品）

アメナリーフ錠200mg

マルホ 抗ヘルペスウイルス剤

【効】帯状疱疹

【用】通常、成人にはアメナメビルとして1回400mgを1日1回食後に経口投与する。

【禁】リファンピシンを投与中の患者（相互に血中濃度が低下し、薬剤の作用が減弱するおそれがある。）

【副】NAG増加、α1ミクログロブリン増加、QT延長等



ネイリンカプセル100mg

佐藤製薬 経口抗真菌剤

【効】適応菌種：皮膚糸状菌（トリコフィトン属）、適応症：爪白癬

【用】通常、成人には1日1回1カプセル（ラブコナゾールとして100mg）を12週間経口投与する。

【副】肝機能障害、腹部不快感、便秘、口角口唇炎等



ゴシュユトウ

ツムラ31 呉茱萸湯エキス顆粒2.5g/包

ツムラ 漢方製剤

【効】手足の冷えやすい中等度以下の体力のものの次の諸症：習慣性偏頭痛、習慣性頭痛、嘔吐、脚気衝心

【用】通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【副】発疹、蕁麻疹、肝機能異常等



オルベスコ200μgインヘラー56吸入用

帝人ファーマ 吸入ステロイド喘息治療剤

【用】通常、成人にはシクレソニドとして100～400μgを1日1回吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日の最大投与量は800μgとする。また、1日に800μgを投与する場合は、朝、夜の1日2回に分けて投与する。小児：添付文書参照。

1日1回投与の場合には、本剤を夜に投与することが望ましい。

【効】気管支喘息

【副】呼吸困難、嘔声、発疹、尿中蛋白、AST増加、ALT増加等



※下記薬剤の効能効果、用法用量、副作用等は添付文書をご覧ください。

アレロック顆粒0.5%

協和発酵キリン

抗ヒスタミン剤



ニゾラルクリーム2%

ヤンセンファーマ

抗真菌剤



プロペシア錠0.2mg

佐藤製薬

男性型脱毛症進行遅延剤



ロキソプロフェンNaテープ50mg

ユートク

経皮吸収型鎮痛

・抗炎症剤



ヒュミラ皮下注40mgペン0.4mL

アツヴィ

ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤



9月の名称変更薬品（常備薬品）

ピコスルファートナトリウム内用液0.75%「日医工」

：ラキソデート内用液0.75%からの変更

9月の区分変更薬品（院外専用薬品→特定個人薬）

ツムラ25 桂枝茯苓丸エキス顆粒2.5g/包

9月の削除薬品：ベネクトミン静注用200mg（販売中止）

